

佐方小学校区! 皆で支え交流を深める活動!

広島県廿日市市

活動名

佐方小学校区学校支援地域本部

関係する学校

佐方小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	7人	74人	23年度	無
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

佐方小学校区学校支援地域本部(愛称:ぼんぼこ応援団)は、佐方小学校の児童をみんなで守り育て、佐方小学校をみんなで支えるという方針のもと、平成23年12月に発足した。佐方小学校区の各地区が、「子供たちが通学する学校への支援」という共通理解のもと一体となり、交流を広め深めながら、地域が子供を育てるという態勢づくりを目指すものとして取り組んでいる。地域において長年培ってきた学校・地域の信頼関係のもとに、互いの願いや課題等が共有でき、支援・協力・情報交換ができる仕組みづくりを進め、「地域による学校への支援」だけでなく「地域への学校としての協力」や「相互の活動の交流・連携」を推進している。また地域自治組織と学校区の相違の中でも、協動的で効果的な運営を図っており、年々活動が盛んになってきている。

支援内容については、学習支援、クラブ活動、新1年生の下校見守り、学校行事など、学校からの要請にもとづいて取り組んでいる。また佐方小学校の「校訓」や「学校教育目標」、「めざす学校像・児童像・教師像」等を共有し、活動の参考としている。

特徴

【特徴的な活動内容】

○学習支援

- ・書写や図工の実技科目をはじめ、生活科、理科、クラブ活動など幅広い支援を実施している。特にクラブ活動では地域の歴史や伝統文化を伝承し、獅子頭作り、お面づくりなどは市の行事でも発表の機会を得る等、学校支援ボランティアがこれまで培ってきた経験を子供たちへ伝える模範的な活動となっている。
- ・学校支援ボランティアは担任の教職員の指導をサポートし、指導の徹底を図っている。また同時に「子供を褒める」ことも大事にしており、褒められることによる自尊感情の高まり、更なる挑戦への意欲など、子供に与える影響の大きさ・大切さについて、共通認識をもって取り組んでいる。

【実施に当たっての工夫】

○支援調整会議を毎月1回開催

- ・学校からの支援依頼を地域コーディネーターが調整し、円滑に支援活動が行えるよう月に1回協議の場を設けている。佐方小学校区は学校区内に3つの地域自治組織があるが、毎月開催するこの会議が3組織の連携・調整の機会として機能している。

○教職員と学校支援ボランティアの交流会

- ・学習支援に入る際に、教職員と学校支援ボランティアの間で十分な調整の時間を取ることが難しいことから、教職員と学校支援ボランティアの調整・協議のための機会を設け、互いの思いを率直に交換することによって、より良い成果、やりがいを生むことのできる支援とすべく取り組んでいる。

○学校側の担当者の設置

- ・支援調整や連携の充実を図るための学校の担当者を校務分掌に位置付けている。調整作業を担当に集約することで、連絡作業でのすれ違い等のミスを防止し、安定した連携を図っている。



佐方小学校区学校支援地域本部 組織図



生活科「いも植え」体験の様子

事業を実施して

平成25年度に実施したアンケートでは、地域からは「子供たちとのふれあいの中で元気をもらいやりがいを感じている」、学校からは「児童1人1人に声をかけてくださり、子供たちにとってはげみになっている」といった肯定的な意見が多数出ており、信頼関係のもとに互いに満足できる取組ができています。また佐方小学校区は、学校区の中に3つの地域自治組織があるため、これまで学校を含めた連携を推進してきた経過があったが、当本部の発足時に3組織の連携を重要事項として掲げ、以降毎月の支援調整会議や学校支援活動などを通して連携強化を図ってきた。学校と地域だけでなく、地域間の連携に関しても、当本部が果たしている役割は大きい。

その他

佐方小学校区学校支援地域本部は、学校と地域のつながりに重点を置いており、子供たちが地域行事に積極的に参加をしている。子供たちは「れんげ祭り」「花いっぱい運動」「敬老会」など様々な地域行事に参加し、花植えやゴミ拾いなどに取り組んだ。地域行事の参加についての感想文には、満足感や地域への愛着が書かれており、地域に出ることが成長の機会となると同時に、地域住民に対する安心感や地域の魅力を感じとっていることが伺える内容である。